

「研究主任がリードする“タイ”でつなぐ校内研修の取組」 観点Ⅲ－10, 11, 12

佐伯市立上堅田小学校
児童数221名 学級数10

目的

研究主任が各世代の教員の思いを生かした校内研修を行うことで、校内研修を活性化させ、学校全体の授業改善に繋げる。

研究主任が各教員の“タイ”をつなぎ、受け“タイ”校内研修を実施する。

若手教職員

研究主任
(ミドルリーダー)

ベテラン・
同世代教員

○先輩教員の授業・手本を見て勉強し“タイ”。
○こんな研修がし“タイ”、受け“タイ”。



○手本や授業を若手に見せる用意がある。
(見せ“タイ”、伝え“タイ”)

取組内容

“タイ”を生み出す

- ・学校の教育目標を具現化するための研究テーマ設定
- ・理論研修と実践研修のバランスを考えた研修の実施
- ・研修内容をロイロノートで共有できるシステムの構築
- ・夏季休業中は他校の授業づくり研修へ積極的な参加を促す

取組

“タイ”をつなぐ

- ・研究の基本的なスタンスを年度当初に全体で共有
- ・模擬授業観察シートによる前年からの研究内容の理解促進
- ・各世代の教員の学びたい要望にできるだけ応える
- ・研修のまとめや振返りを若手教員が行うようにする

心がけていること

- ・若手教員には、①できているところを見落とさずにきちんと褒める
②難しいことはわかりやすく、噛み砕いて伝える
③若手教員との相談する時間の設定
- ・全職員に対して、丁寧に接し、日常からコミュニケーションをとる

成果

- ・教員が校内研修を自分ごとと捉え、主体的に参加するようになってきている。
- ・生き生きと授業を行う教師の姿、主体的に授業に向かう児童の姿が見られるようになってきた。
(児童アンケート「自分でめあてや方法を決めて学習に取り組むことができる」R6 83.7%→R7 86.0%)

【学校の教育目標を具現化するための研究テーマの設定】

学校の教育目標

ふるさとを愛し 自ら考え ねばり強く挑戦する たくましい子どもの育成

研究テーマ

自分で決めて、自分で選び、自分から動く子どもを目指して
～ たくさんの「タイ」を生み出す教師の役割 ～

タイ＝主体性

- ・相手意識(どこに)
- ・目的意識(何のために)
- ・方法意識(どうやって)

3つの意識の見通しがもてれば、
「～しタイ！」が増す。
課題である表現力を育てるために。

教師が求める子どもの姿

子どもが自分の言葉で伝えようとしている姿
(教師がファシリテーターとなる)

【ロイロノートで研修内容の振り返り等の共有】

6月11日 (水) 研修振り返り

6月11日 (水) ふり返り

- ・毎回外国語の授業でスピードが速いと反省しています。「学力向上フォルダ」拝見させていただきます。
- 「ここ見て」「指示2回」「1つの指示で1つの行動」は ぜひ使います。勉強になりました。
- ・聞き方が気になっていたため、3箇条を早めに決めて全体で共有し、目標にしていきたいと思います。
- ・国語の指導に不安を抱えています。鳥村先生に、国語の単元作りの「イロハ」を色々学びたい！
- ・「聞く力」について増尾先生からお話いただいたこと、鳥村先生に教えていただいたことを早速実践につなげていきたいです。
- ・学力向上「聞く力」についての研修で、全校統一で3箇条を考え教室に掲示する取り組みは、とても良いと思った。
- ・教師ができる支援について教示していただき、とても参考になりました。(鳥村先生の経験からの実践的な指導のあり方も取り入れたい)
- ・自分のクラスも聞くことがとても苦手で、どのような取り組みをすればいいか悩んでいました。他のクラスの実態を知ることができてよかった。また実際に自分たちがやってみることで手立ての有効性も感じられた。(指示ゲームなどもっと知りたい)

ロイロノートを活用し、研修のフィードバックをスピード感をもって行っている

【今年度研究の基本的なスタンスの確認】

- ・校長が教育目標で示した児童の姿を目指す研修であること
- ・児童の姿が具体的な資質・能力でとらえられ、実践の成果が評価できる研修であること
- ・外国語教育、生活科・総合的な学習の時間、授業改善の3つの視点からアプローチすること
- ・それぞれの目的が相互につながる汎用的な研修になること
- ・前年度の課題を踏まえ、実践の視点が焦点化された研修であること

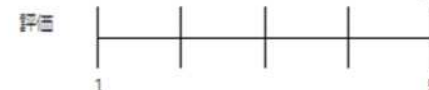
【模擬授業観察シートによる研究内容の理解促進】

※異動した職員に本校の研究を理解してもらうための模擬授業で使用

模擬授業観察シート

授業者	
記載者	

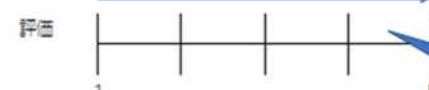
1. コミュニケーションタイム1において、明確な観点で子どもの活動の状況を見取っているか。



評価理由

研究の具体(内容・用語など)を見取ることができるような視点

2. 見取ったコミュニケーションの状況を、単元及び本時のゴールに向けた状況にレベルアップするために、中間指導で言語面・内容面の視点から意図的に取り上げ、適切に指導できているか。



評価理由

スケールで数値化し評価をわかりやすく